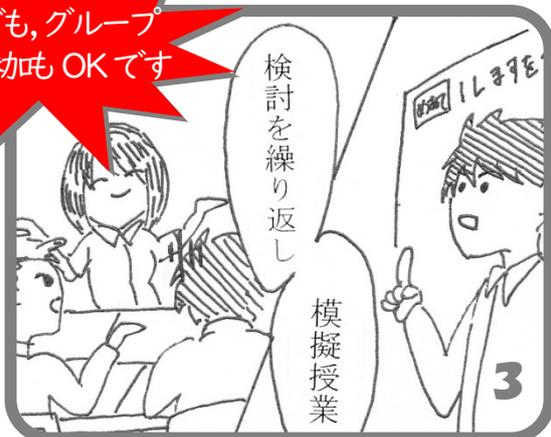


高め合う未来の教師集まれ

第5回 模擬授業フェスティバル

個人でも、グループでも参加OKです



メ切
1/17

実習で得た課題をそのままにいませんか。

その課題を仲間と話し合っ、よりよい解決策を考えてみませんか。

模擬授業にして発表し、授業実践力を高めてみませんか。



2.20(木)

13:00~17:00



秋田大学
教育文化学部
3-255

*参加者多数の場合、予選会を実施することがあります

主催: 模擬授業フェスティバル実行委員会

後援: 秋田県教育委員会

主管: 秋田大学教育文化学部附属教職高度化センター

問い合わせ: 模擬授業フェスティバル実行委員会 (TEL.018-889-2544 mailto:koike@gipc.akita-u.ac.jp)

参加資格: 教員志望の秋田県内大学生が、グループまたは個人で参加すること。

<実施要領の詳細は裏面を参照>

模擬授業フェスティバル実施要領

主催: 模擬授業フェスティバル実行委員会 主管: 教育文化学部附属教職高度化センター

■参加資格

教員を志望する秋田県内の大学生が、グループまたは個人で参加すること。

■参加申込

メールにて参加申込ください。メール件名は「模擬授業フェス参加申込」として、次の必要事項を入力の上、koike@gipc.akita-u.ac.jp に送信してください。

①グループ名(個人の場合は不要)、②グループ代表者または個人の氏名、大学・学部・課程または学科、年次、連絡用のメールアドレス、③グループの場合は、メンバーの氏名、大学・学部・課程または学科、年次(代表者を除く)、④参加部門、⑤中心課題とその設定理由、⑥模擬授業を行う校種、教科等、学年、単元または題材名等

申込メ切: 1.17(木)

■プロジェクトマップー参加申込から発表までー

- 1月 ●参加資格の条件を満たしたグループをつくり、参加申込をします。
- 教育実習等の経験をふまえ授業実践の中心課題を決めます。先行研究や先行実践をもとに、中心課題の解決策を検討します。
 - グループで模擬授業に取り組み、中心課題を解決する授業や、次の実践機会にやってみたい授業を検討します。(教員等の助言を得て、より高みを目指してください。)
- 2月 ●模擬授業フェスティバルにおいて、中心課題の解決策を模擬授業形式で発表します。時間は、発表・説明が10分、質疑応答5分(準備・片付けを含む)の計15分です。授業の中でポイントとなる部分をピックアップして発表します。中心課題や解決策、模擬授業等の説明を加えてもよいです。
- 模擬授業では、グループ参加の場合は、教師役と児童生徒役を設定して行います。個人の場合は、児童生徒役を会場の参加者が務めます。
 - 審査(課題解決能力、人間関係力、知識・技能等)を行い、最優秀賞等を決定します。

■審査・表彰

優れた解決策を提案・発表したグループ・個人を表彰するとともに、夏のオープンキャンパスにおいて、高校生向けに模擬授業を発表し、教員を目指す学びの魅力を伝える広報活動を委嘱します。

■審査員

秋田大学教育文化学部及び教職大学院教員(予定)

■大会主催者から

「教師は授業で勝負する」ということばを耳にしたことがあると思います。もちろん、教師は授業だけでなく、学級運営、生徒指導、公務分掌等々様々な仕事を担当します。そのため、中央教育審議会答申(平成17年「新しい時代の義務教育を創造する」)では、優れた教師の条件として、「1. 教職に対する強い情熱」「2. 教育の専門家としての確かな力量」「3. 総合的な人間力」の三つの要素をあげ、幅広い資質能力が必要であるとしています。とはいえ、こうした力量は、「授業」の中でもっともよく発揮されるものです。

模擬授業フェスティバルは、まさに「授業で勝負」する機会です。教育実習を経験した人は、そこでの成果や反省をふまえ、まだ実習に行っていない人は、実習に向けて自分のアイデアを具体化して、提示してもらいたいと思います。フェスティバルですので、審査・表彰も行いますが、異学年、他教科・校種の授業を見ることは、授業の技術的側面、手法的側面だけでなく、授業に臨む姿勢、児童生徒に向き合う態度等々、様々な発見や学びがあると思います。参加を通して、自分の授業力、教師力を高めてみませんか？